

町民のひろば

皆さんが参加するコーナーです。耳よりの情報、ご意見、ご質問など気軽にお寄せください。総務企画課広聴広報統計係 内線257



キャンパスの収穫(口角)「ゆづまき」



第3セクターの葛巻町畜産開発公社

専務に生え抜きの高宮さん



「歴代4人の偉大な専務の後でもあり、戸惑っています」と、葛巻町畜産開発公社専務理事に就任した高宮晴彦さん(51歳・中村)。公社設立直後の昭和51年5月に職員。以後草地課長、事業部長、平成11年から統括事業部長として常に事業を企画・実践してきました。「これまで専務がトップセールスに多忙を極めている間現場を守ってきました」と高宮さんの穏やかな笑顔の中に充実感をのぞかせます。「60歳まで職員として働くつもりでした」が、理事会の要請に苦渋の決断を迫られ、31年間の恩返しに「やるしかない!」と決心したとのこと。公社設立時から10年間二人の専務と社員を派遣してくれた小岩井農牧(株)を今後も師と仰ぎ「本来の公社業務である哺育育成事業をきっちりやり、町の第一次産業をしっかり支える」と、くずまき高原牧場を知り尽くした生え抜き専務は、100人を超える従業員の現場のトップとして、牧場経営に想いを巡らす毎日です。

「食の匠」として広く食文化を伝える事が役目。講習会などのご希望があればいつでも出向きますよ」と、町内4人目の匠は張り切っています。

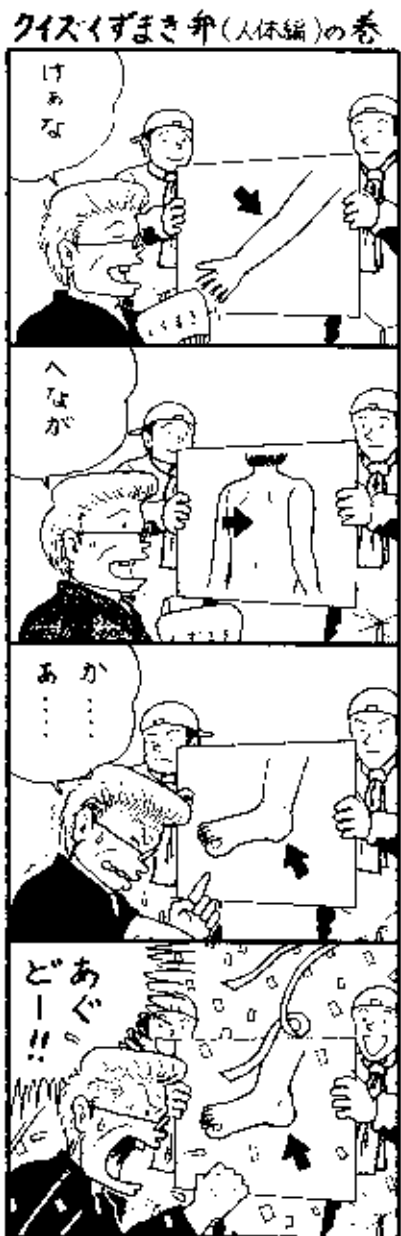
岩手県の食の匠に 町内4人目の漆真下トヨさん



県が認定する「食の匠」に、漆真下トヨさん(57・橋場)の「山ぶどうの赤飯」が選ばれ九月十九日、盛岡市内のホテルで認定証が贈られました。「小豆の代わりに山ぶどうを使い、山ぶどう原液を混ぜることできれいな色に仕上がりました」と、試行錯誤を繰り返しながらの自信の一品。くずまきワインに勤める漆真下さんは「計画されているエコパーク平庭の目玉メニューになれば」と夢が膨らみます。

山ぶどうの赤飯
いかがですか!

さわちゃん劇場
(沢口浩 作・画) 53



わが家のマイドル



石木 麻優ちゃん
(3歳1カ月・毛頭沢(國明)さん2女)

人見知りもあまりなく、人なつこい性格の麻優。我が家のお世話係で、父、母、姉の家族みんなにいろいろお世話してくれま。最近、「どうして?」の質問攻撃に参ってしまうこともしばしば。素直で優しい子に育ってほしいです。 幾子

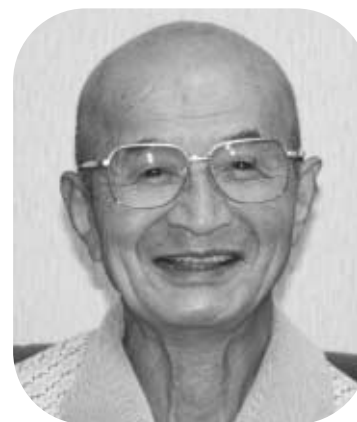


澤田 稜介くん
(3歳3カ月・城内小路(純一)さん長男)

ひとつ年下の弟とけんかの絶えないわんぱくな稜介。その証拠に部屋の障子やガラスは原型をとどめない状態。おもちゃはゲキレンジャーが好きで、好きな食べ物はもちろんパパが作ってくれるハンバーグです!!元気に優しく、賢い子に育ってほしいですね。 里美

ハイ、元気です
162

21歳のときから、養豚一筋62年。「長い年月には、3回の大きな危機があったが、亡き妻の内助の功もあって運良く乗り越え、2,000頭までの養豚を達成することができた。現在は息子夫婦と孫が後を継ぎ、私以上にやってくれている」と目を細めます。隠居後も、家の中でじっとしているのは性分に合わず、上平の200坪の畑に自分の車で通い野菜を作って皆さんにお裾分けするのが楽しみ。平成16年には子孫に伝えたい事を書き記そうと、自叙伝「負けん気夫婦の養豚一代記」を発売。公民館図書室でぜひ一読ください。



野手 作一さん
(86歳・浦子内)

ヤング 308



鳥居 千洋子さん
(22歳・新町)

音楽が大好きです!

- ◆勤め先は? 江刈保育園で臨時の保育士をしています。担当は1歳児と3歳児7人。子どもたちが園生活を楽しめるよう心掛けています。
- ◆自分の性格は? おっとりしていると言われる。
- ◆趣味・特技は? 音楽が好きで、週2回小学生とジュニアプラス(プラスバンド)と一緒に楽しんでいます。また、短大の時のサークルがきっかけで月2回、盛岡で「ナチュラルリズム」というグループでソウル&ゴスペルを楽しんでいます。
- ◆今、一番したいことは? ゴスペルの仲間とライブができたらいいな。
- ◆理想の男性像は? 私を引っ張って行ってくれるような男らしい人。
- ◆最後に一言。卒園児に覚えていてもらえるような保育士を目指したいです。